



綾瀬小だより

6月号
令和5年5月31日
足立区立綾瀬小学校
校長 小坂 裕紀

自分で考えて行動する。自分に責任をもつ

校長 小坂 裕紀

本校では、毎週金曜日に昼会を行っています。4月までは全校昼会でしたが、5月からは、子供たちの発達段階にあわせ低中高に分けた昼会を行っています。子供たちは、私の話を身体全体でしっかり聞いてくれています。私からは、5月号でお伝えしました「7つの習慣」について話をしています。その内容については、引き続き、この綾瀬小だよりにて保護者・地域の皆様にもお伝えしていきますので、ぜひ、ご家庭・地域でも話題にさせていただけると嬉しいです。

7つの習慣のフレーム

今月号では、まず保護者・地域の皆様に7つの習慣の全体フレームを紹介します。学校では主に、第3の習慣（右図の根の部分）について繰り返し伝え、評価していきたいと思っています。私は、何事もこの根の部分が大切だと考えており、高学年等、発達の段階に応じて第4以降の習慣についても伝えていきたいと考えています。また、本校の教育活動にこの7つの習慣の考え方を活用することにより、教職員も同じ方向で子供たちを指導することができ、子供たちも迷うことなく成長できると考えています。では、さっそく第1の習慣についてお伝えします。

第1の習慣「自分で考えて行動する。自分に責任をもつ。」

こんなこと思ったことありませんか？

- 前からこうだった。変えられるわけがない。無理に決まっている。
- が悪かったから負けたんだ。
- 校庭の砂で滑って順位が遅くなった。
- 先生はいつも私のことばかり怒る。
- いちいちうるさい。何度も言われなくてもわかっているのに。

また、これまでに、次のようなことはありませんでしたか？

- すぐにカッとなってキレた
- すぐに行動できたのに、ぐずぐずして結局やらなかった

いかがですか？もし、カッとしたとき、それ以外の

選択肢はありませんでしたか？

刺激

反応

例) 前もできなかったな
⇒ あきらめる・やめる

これを「**反動的**」といいます。

違った行動を取るためには…

刺激

スペース

反応

この刺激とは、周囲からやってくるもののことです。いろいろなところからやってきます。このたよりを読むのも刺激です。

刺激を受けたときにスペースを空けてどうするか考えて反応することを「**主体的**」といいます。それ以外にできることを考えるのです。(後から考えるといろいろと後悔することがありますよね)

そのために、綾瀬小の共通の言葉として「**一時停止ボタン**」とします。

刺激と反応の間にスペースを空けるには、一時停止ボタンを自分の中に身に付けるのです！この一時停止ボタンを使うと、それを「できるところまでやってみよう！」などと思いなおすこともできます。難しいけど、できると思いませんか？このように一時停止ボタンを使ってどう反応するか、どういう行動するか**自分で選ぶ(自分に責任をもつ)**のです。



これが第1の習慣。言い訳をせず、人のせいにならず、主体的な毎日が送れるようになるといいですね！

